

南あわじ市社協だより

# わかいは



第83号

2026年3月発行



右の作品の作者：高見勇氣さん



## Contents

- 特集「ふらっとほうむ」…………… 2・3
- 社協活動掲示板 …………… 4・5
- 地域の活動ええ和・話・輪…………… 6
- お知らせコーナー・福祉クイズ …… 7
- 善意銀行だより…………… 8



この広報誌は一部赤い羽根共同募金の財源を活用しています。

# みんなの「居場所」

# 「ふらっとほうむ」

## 「ふらっとほうむ」って、どんなところ？

「ふらっとほうむ」は、地域の交流拠点として、また生活介護事業所としての役割をあわせ持つ施設です。

施設の名前には、「ふらっと」立ち寄れる、心を「フラット」にできる、みんなの「ホーム」になる、そんな願いが込められています。



## 地域交流スペース

障がいの有無にかかわらず、地域にお住まいの方の誰もが安心して立ち寄ることができる地域交流スペースを設けています。生活介護事業所のご利用者や地域の方が交流し、お互いに理解・尊重しあえる場になることを目指しています。また、地域のみなさまが出会い、つながり、集える場所になってくれることを願っています。



## 2026年4月より、「レンタルスペース」がはじまります！

- |        |   |
|--------|---|
| 貸館日    | 月曜日～金曜日、第2・4土曜日<br>9時～17時                         |
| 貸しスペース | 多目的ホール、相談室、展示ギャラリー、キッチン                           |
| 使用料    | 各スペース 100円/1時間～<br>(フロアによって金額が異なります。詳しくはお問合せください) |
| 申請     | 利用日の2か月前から1週間前までに申請書を提出してください                     |

## 生活介護「ふらっとほうむ」

生活介護は障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスのひとつです。日中に行われる通所サービスで、障がいのある方が住み慣れた地域で、自立した生活を送ることができるよう支援を行います。



- |       |   |
|-------|---|
| 営業日   | 月曜日～金曜日 (12/29～1/3はお休み)<br>※祝日等は事業所の営業カレンダーに準ずる |
| 開所時間  | 8:30～16:30<br>※お一人おひとりに合わせた時間で利用・調整が可能です        |
| 利用対象者 | 障害支援区分3以上<br>※50歳以上は区分2以上で対象 ※障がい種別は問いません       |
| 定員    | 20名   |
| 支援内容  | ・昼食あり ・入浴サービスなし<br>・送迎実施 (事業所から片道30分以内の範囲)      |

# ～気軽に、ふらっと、来てみませんか？～

## 「ふらっとほうむ」のこれまでの歩み

### 地域の方からのご寄附



旧法務局の  
土地と建物を  
寄附したい

そんなあたたかい  
お申し出を受けました。



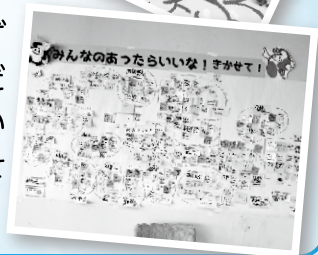
### 住民説明会の実施

令和元年9月と11月に、地域の住民向けに市地区にて住民説明会を実施しました。

### 「オープンデイ」を開催

令和6年7月5日、6日には、実際に地域での拠点づくりを進めるうえで、住民のみなさまのご意見をいただく機会をもちました。

当日は、老若男女問わずたくさんの方がお越しください、地域の「あったらいいな！」をたくさん聞かせていただきました。



### ワークショップの開催

地域のみなさまからいただいたご意見をより具体的にし、これからの活動に結びつけていくために、計3回のワークショップを開催しました。

☆各ワークショップでの内容☆

- 第1回：オープンデイで出た意見の精査
- 第2回：地域交流スペースの活用について・施設名称の選定
- 第3回：気軽に立ち寄れる場づくりについて



### 西宮市社協へ視察研修

「地域共生館ふれぼの」「地域活動センター青葉園」に訪問し、これからの居場所づくりをすすめるヒントをいただきました。



### 施設見学会

5日間で116名もの方にお越しいただき、「ふらっとほうむ」を見て知っていただくことができました。



### 開所式

生活介護事業のオープンにあわせて、開所式を行いました。

当日は、なでしこデイサービスセンターの利用者も参加。「山猫ピアノ」さんの演奏で、会場を盛り上げていただきました。



### 施設名称の募集

全国各地から100通を超える応募をいただきました。たくさんのお応募の中から選ばれたのは、南あわじ市在住の竹田りえさんの作品でした。



社会福祉法人  
南あわじ市社会福祉協議会 **ふらっとほうむ**

〒656-0474 南あわじ市市市 227-1  
TEL 0799-20-9033 FAX 0799-20-9032

Instagram も  
ぜひフォロー  
してください！



@FLAT\_HOUMU

穴場の花見スポットは？

抜粋して一部紹介します。

●南あわじ市福良の休暇村の桜がすごくきれいですよ。(70代・女性)

南あわじ市社会福祉協議会  
**わかば**



# 社協活動

## 生活福祉資金のご案内

生活福祉資金とは、民生委員と連携して相談支援を行い、必要な資金を貸し付けすることによって、経済的な自立と生活の安定、社会参加を目指した貸付制度です。

- ①総合支援資金 / 臨時特例つなぎ資金  
生計中心者の失業などによって生計維持が困難になった世帯に対して、生活再建までの生活費や住宅費などの貸付
- ②福祉資金  
経済的理由や障がいなどにより生活課題を抱えている世帯に対して、一時的な費用の貸付
- ③教育支援資金  
学費の捻出が困難な低所得世帯の生徒・学生に対し、高等学校や大学などへの入学・在学中に必要な費用の貸付

※詳細は南あわじ市社協（44-3007）までお問合せください。

## コープこうべ・ハピネスアート・コンテスト」受賞おめでとうございます！

329点の応募作品の中から、なでしこデイサービスセンターを利用している寺神亜佑さんの作品が選ばれました。

コープこうべさんからのご紹介をきっかけに応募へとつながり、日頃から「アートスタジオ夢」で作品づくりを楽しまれてきた思いが、今回の受賞につながったのだと思います。今後も、地域とのつながりを大切にしながら、一人ひとりの表現や可能性を応援していきたいと思います。

作品のテーマは「やさしい人と」。リハビリで出会ったお友だちを描き、金髪のおしゃれなお友だちへの憧れから、ご自身も金髪で表現されています。



## 日常生活自立支援事業のご案内

生活の中で困ったことはありませんか？



そんな時は **社会福祉協議会** にご相談ください

認知症、知的・精神障がいなどがある人を対象に、「福祉サービスの利用援助」を基本として、必要に応じ「日常的な金銭管理」や「書類の預かり」などを行います。

こんなケースがあります

例えば…  
年金を使い切り光熱費や家賃が滞りがちだったが、制度の利用と生活支援員への相談により、必要な支払いができるようになった。 など...

## 総合相談

生活上のお困りごとや心配ごと、福祉に関する相談、子育てに関する事など、どなたでもご相談ください。

相談日：月曜日～金曜日  
時間：8時30分～17時15分



電話や窓口、ホームページから受付しています。

時間帯によって対応できる職員が不在の場合がありますので、一度お電話にてご確認をお願いします。

電話：44-3007

メールアドレス：info@minamiawaji-shakyo.or.jp

※メールの場合、確認に時間を要する場合がございます。ご了承ください。



# 掲示板



## 南あわじの「ふくし」をともに考える

～社会福祉士実習生受入れ～

市内にある11の社会福祉法人でつくる「南あわじ市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへん ネット南あわじ）」で、武庫川女子大学の社会福祉士実習生14名の受入れを行いました。高齢・障がい・児童・社協などの施設・事業所で幅広く「ふくし」を学ぶとともに、南あわじ市の魅力を知ってもらうことを目的に、実施しています。学生とこれからの南あわじの「ふくし」について考える機会として、本事業は今年で3年目を迎えています。

5日間の実習の最終日には報告会を開き、実習生と福祉現場で働く職員との意見交換を行いました。各分野での支援方法の違いや共通の視点、若者から見た南あわじ市における地域課題など、充実した時間となりました。

今回の実習での気づきを取り入れながら、今後もほっとかへん ネット南あわじでは、地域のみなさまと一緒に地域貢献活動に取り組んでいきます。

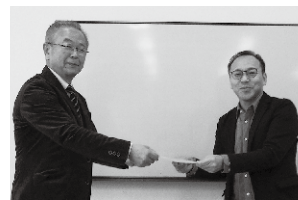


## 第5次地域福祉推進計画の策定がスタートしました

1月13日（火）、第5次地域福祉推進計画の策定に向けた第1回策定委員会を開催しました。今回は、市が策定を進めている地域福祉計画との合同開催となりました。

当日は、策定委員15名にご出席いただき、地域の現状や課題、今後の方向性について、活発な意見交換が行われました。今後は、策定委員のみなさまや地域の方々の声に耳を傾けながら、話し合いを重ね、計画内容をより具体的なものにしていきます。

地域福祉推進計画は、地域の課題や思いを共有し、地域のみなさまとともに考え、ともに作り上げていく計画です。地域の誰もが自分らしく生活できるよう、公民協働で具体的な活動につなげることを目的としています。社協では、これからも地域のみなさまの声を大切にしながら、計画策定に向けて取り組んでいきます。



## ボランティア保険のご案内

ボランティア活動中の事故やケガに備えて、ボランティア保険の加入をお勧めしています。

### ◎ 兵庫県ボランティア・市民活動災害共済

内容 ボランティア活動中の万が一の事故に備える保険

- ① 傷害保険金
- ② 死亡見舞金
- ③ 損害賠償責任保険金

手続 社協窓口にてご加入ください  
(氏名・住所・電話番号が必要)

掛金 年間 500 円 / 1 人  
(令和8年4月1日～令和9年3月31日まで)

### ◎ 兵庫県ボランティア活動等行事用保険

内容 事業活動中のボランティアや参加者のケガおよび、主催者が損害賠償を負った場合に備える保険

- ① 傷害保険金 ② 賠償責任保険金

手続 社協窓口にてご加入ください。  
掛金 1人 50 円 (1日 20人以上が必要)

詳しくは、社協 (44-3007) まで  
お問合せください。

### 穴場の花見スポットは？

抜粋して一部紹介します。

● 穴場ではないが、ゆずるは (40代・男性)



# 地域の活動 ええ 和話輪

地域とともに育む、防災の力 ～各地区で防災訓練が行われました!～

## 倭文地区

1月16日(金)、社協みどり支部運営委員会と倭文小学校が協働して防災訓練を行い、児童や地域住民ら計85人が参加しました。

訓練は学年ごとに分かれて実施。6年生はいずみ会倭文支部の協力を得て炊き出し訓練を体験し、アルファ化米を使ってカレーライスと蒸しパンを調理しました。5年生はボランティアグループ「ふれあいながた」とともに、ポリ袋を湯せんして調理するパッククッキングに取り組み、蒸しパンを作りました。

1～4年生は、自治会や民生委員ら地域住民の協力のもと、視覚障がい者の避難訓練を実施。アイマスクを着用し、視覚障がい当事者の助言を受けながら、公園から学校までの避難経路を実際に歩きました。参加者からは「普段の道も怖く感じた」「声をかけてもらうと安心できた」などの声が聞かれました。



訓練後は体育館に集合し、5～6年生が作ったカレーライスと蒸しパンを参加者全員で試食。災害時を想定した避難所での食事体験も兼ね、和やかな雰囲気での交流が行われました。

大規模災害に備えるには、日頃からの身近な訓練が重要です。社協では、今後も誰一人取り残されない地域づくりを地域とともにすすめていきます。

本事業には、一部赤い羽根共同募金の財源が使われています



## 湊地区

1月19日(月)、地域の方々を交え、湊小学校にて防災学習が行われました。当日は、自治会長や民生委員、消防団のみならず、学校と地域が一体となって防災について考える機会となりました。

湊小学校6年生は2学期から防災について学習をすすめ、実際の避難経路を使って小学校まで避難する訓練や、防災グッズを使った体験を通して、災害発生時に自分たちにできることを主体的に学んできました。

当日は、校長先生から阪神・淡路大震災当時の様子についてのお話を聞いた後、3つのグループに分かれて学習を深めました。アルファ化米を使ったおにぎり作り、段ボールベッドの体験、防災や災害に関するクイズなど、児童自らが考え作成した資料をもとに学習をすすめました。



また、南あわじ市危機管理課の協力のもと、地域の大人たちは小学校に備蓄されている災害備品の確認を行いました。発電機や折りたたみ式ソーラーパネルの使い方も実際に体験し、日頃から備えておくことの大切さを改めて認識しました。

災害はいつ起こるか分かりません。今回の取り組みをきっかけに、今後も地域で防災について考え、地域防災の推進に生かされていくことが期待されます。

穴場の花見スポットは?

抜粋して一部紹介します。

●大日ダムの桜 (60代・女性)



わかば



6

## 南あわじ市社協とともに20年…お話を聞かせていただきました！



**阿部 浩央 さん**

(淡路島福祉会南淡在宅介護  
支援センター「やすらぎ」)

地域の身近な介護・福祉の相  
談窓口として活躍中の阿部さん。

コロナ禍前には音楽で地域と福祉施設をつな  
ぐイベントを企画し、現在では認知症サポ  
ーター養成講座での寸劇、ひょうごほっとかナイト  
公式ソングの作曲など、豊富なアイデアでさま  
ざまな場面で活躍中です。

阿部さんと社協は、地域からの相談や普及活  
動、社会福祉法人連絡協議会の共同事務局等、  
現職に従事されてから10年、ともに学び、ともに  
活動させていただいています。

「地域に出ると、「じゃあ、社協に言うたらいい  
か」と言われることが多い、だからライバル」と  
おっしゃられ、「お互いに切磋琢磨していきま  
しょう」と熱いエールをいただきました。

社協は阿部さんからたくさんの刺激を受けており、  
私たちを楽しく導いてくださいます。これからも  
ともに地域のために歩み続けて行きたいと思ひます。

今回は、このお二方にお話をうかがいました。インタビューへのご協力、ありがとうございました。

**松本 守史 さん**

(森の木ファーム株式会社  
代表取締役)



松本さんが代表を務められて  
いる森の木ファームでは、さま  
ざまな障がい者の就労支援に取り組まれています。

その中で、「まちの支援力はとても重要」とおっ  
しゃいます。地域での人とのつながりや活動が心の  
拠り所となり、安定した生活につながるのではと、  
社協に相談いただいたのが関わりのきっかけとなっ  
ています。

その後も松本さんは第4次や現在策定中の第5  
次地域福祉推進計画の策定委員として参画いた  
だいています。計画で掲げている「地域共生社会の  
実現」については、『障がいの有無に関係なく、  
やりたいことができ、そのことを応援する人がい  
る社会』との想いをもち、ご自身の会社でも福祉  
以外の人をつなげる取り組みを実践されています。

インタビューの最後に松本さんから、「地域福  
祉をともに進めましょう」との言葉をいただき、  
身が引き締まるいい時間となりました。

## 福祉クイズ

Q 広報「わかば」表紙は、どこ？



### ■応募方法

- はがきかメールに ①クイズの答え  
②あなたの勝負めしは？  
③郵便番号 ④住所 ⑤名前 ⑥電話番号  
⑦年齢をご記入の上、ご応募ください。

### ■締め切り 4月30日(木) 必着

### ■応募先

〒656-0122  
南あわじ市広田広田1064番地  
南あわじ市社会福祉協議会  
メール info@minamiawaji-shakyo.or.jp

- ◆応募者の中から10名の方に商品券500円分をプレゼント！
- ◆当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

前回(第82号)の福祉クイズの答えは「ひょうごほっとかナイト(認定制度)でした。」



## 南 あわじ市卓球バレー交流大会に参加しました！

2月7日(土)、南あわじ市文化体育館にて「南あわじ市卓球バレー交流大会」が開催されました。本大会には、市内外から多くのチームが参加し、会場は終始活気にあふれていました。

社協からは、参加者を募集して結成した「み〜あジェネレーションズ」が出場！老若男女9名が声をかけ合いながら、和やかな雰囲気の中でプレーを楽しみました。順位は14位となりましたが、白熱した試合の中で笑顔とチームワークを大切に、最後まで楽しくプレーすることができました。

また、チームの一員である西川智哉さんがMVPを受賞するという嬉しい結果もありました。今回の大会をきっかけに、スポーツを通じたつながりがさらに広がることを期待しています。



穴場の花見スポットは？  
抜粋して一部紹介します。

●私は出歩けないので、福良海岸通り沿いの花壇。  
人形座の庭(70代・女性)



# 善意銀行

だより



令和7年12月1日  
令和8年2月28日まで(敬称略)

## 金銭預託

### ○地域福祉のために

仁里 秋枝 大黒なほ子  
藤江 時江 中川 春水  
西淡民生委員児童委員協議会  
八木地区老人会会長会  
賀集西成会  
匿名2件

### ○子どもたちのために

喜田 久美子

## ★物品の寄附

### ○食材・食料品

平 一孝 堀井 正弘  
瀬尾 泰澄 田村 秀子  
山口 昇  
少林寺拳法淡路ブロック  
南あわじ市少林寺拳法協会  
南あわじ市消費者協会  
コープこうべ  
淡路柔道協会  
南あわじ市柔道協会  
南あわじ市南淡B&G海洋センター  
お酒のリカワン山崎本店  
匿名2件

### ○手芸材料・作品

鳥谷 瑞穂 増田 明代  
仁里 秋枝 島田 啓子  
原口 啓子 黒田 敏代  
瀬尾 真末  
尚堀川工務店  
匿名1件

### ○日用品・生活雑貨品

湊 ゆり 瀬尾 泰澄  
古池まゆみ 坂本可南子  
奈木 香純 池田 智明  
匿名4件

### ○衣類

島田 啓子 池田 智明  
赤井 達弘 増田 明代  
榎本 賢  
匿名3件

### ○衛生用品・介護用品

久代 慶子 池田 智明

### ○ブルタブ・古切手・書き損じハ ガキ・テレホンカード・ベルマー ク・牛乳パック

喜田 進 喜田眞里子  
仁里 秋枝 中村千代美  
鈴木 幸子 赤松さえこ  
柏木 雅文 川上 昭代  
新居 公子 奥畑 広二  
鳥谷 瑞穂 橋本まゆみ  
湊 ゆり 山口 照子  
瀬尾 泰澄 長江 和代  
宮崎小百合 坂本トシ子  
小川 芳子 藤江 時恵  
江本 京子 竹中 順子  
山中 好子 藤江キヨア  
赤坂 明子 山本きく子  
由良 和美 太田 幸子  
匠 人美 稲井 富江  
齋藤 炬子 門田 照子  
橋本 瑛太・瑤大  
大亦 俊子 柏木 広子  
岡田 美鈴 黒田 敏代  
田中 功三 松坂 珠民  
溝口 準子 小島 恵子  
平成病院 榎谷問商店  
株式会社 福良こども園  
株式会社 プラザスキモト  
地域食堂あひす屋  
ひとあかり訪問看護ステーション

### 淡路農産食品(株)

淡路志知郵便局  
神代地区公民館  
株大幸

### 女性活躍推進活動

農家の店しんしん  
株みなと銀行南あわじ支店  
総合衣料玉岡屋  
株工シエルクア  
株あべいすと  
キクカワストア  
いきいきサロンin西路  
どんぐりの里  
向谷自治会  
伊加利老人会  
養護老人ホームさくら苑  
ふれあいながた  
仁尾いきいきサロン  
新田北ふれあいサロン  
匿名11件

## お願い

○寄附いただく物品は、  
☆新品または新品同様のもの  
☆取り扱い説明書のあるもの  
にご協力をお願いいたします。

## お詫び

1月31日発行の「第82号共同募  
金特別号」におきまして、共同募  
金にご賛同いただいた事業所様、  
協力者様のうち、「平一孝様」  
「株村瀬建設様」「相互建設(株)様」  
「三原志知地区自治会様」の掲載  
が漏れておりました。  
ご迷惑をおかけしましたこと心  
よりお詫び申し上げますとともに、  
今後このようなことがないように再  
発防止に努めてまいります。

## 川柳がっないだ

### 20年の歩み

広報「わかば」は発行から20年  
を迎え、これまで地域のみな  
さまから寄せられた川柳は三百  
句にのぼります。日々の暮らし  
や地域への思いが五・七・五の  
言葉に込められ、「わかば」と  
もに積み重ねられてきました。  
20年を記念して市地区公民館で  
川柳を展示したところ、「ほかの  
公民館でも見たい」という声か  
寄せられ、約1年をかけて市内  
すべての公民館で展示を行うこ  
とができました。川柳を通して  
当時を語り合う姿も見られ、広  
報「わかば」が地域のみなさま  
とともに作り育ててきたもので  
あることを改めて実感しました。  
今後地域の声を大切に伝えて  
いきたいと思っております。



発行

## 社会福祉法人 南あわじ市社会福祉協議会

〒656-0122 兵庫県南あわじ市広田広田1064番地 TEL(0799)44-3007(代) FAX(0799)44-3037(代)  
URL <https://minamiawaji-shakyo.or.jp> メール [info@minamiawaji-shakyo.or.jp](mailto:info@minamiawaji-shakyo.or.jp)



- 本部・総務課 ☎ 0799-44-3007
- 地域福祉課・総合相談課 ☎ 0799-44-3007
- ボランティアセンター ☎ 0799-44-3007
- 障害者基幹相談支援センター ☎ 0799-44-3711
- 権利擁護センター ☎ 0799-44-3310
- 訪問介護事業所 ☎ 0799-44-3133

- 居宅介護支援事業所 ☎ 0799-44-2727
- 相談支援事業所 ☎ 0799-44-3711
- なでしこデイサービスセンター ☎ 0799-45-1806  
FAX 0799-45-1420
- ふらっとほうむ ☎ 0799-20-9033  
FAX 0799-20-9032

## 穴場の花見スポットは？

抜粋して一部紹介します。

- 八幡八幡神社 (30代・女性)

